

経営比較分析表（令和5年度決算）

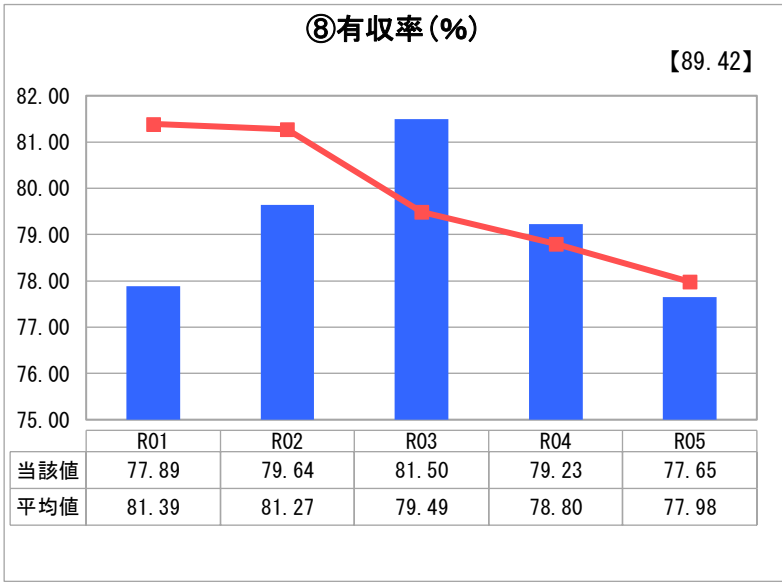
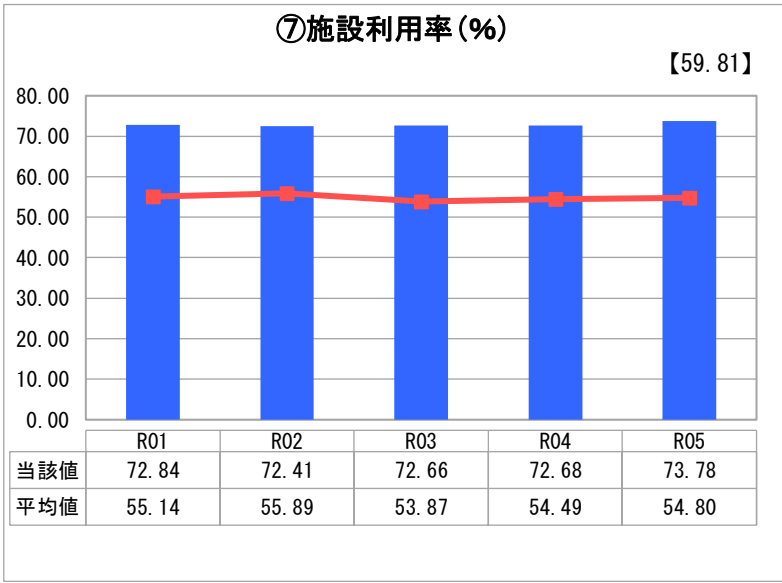
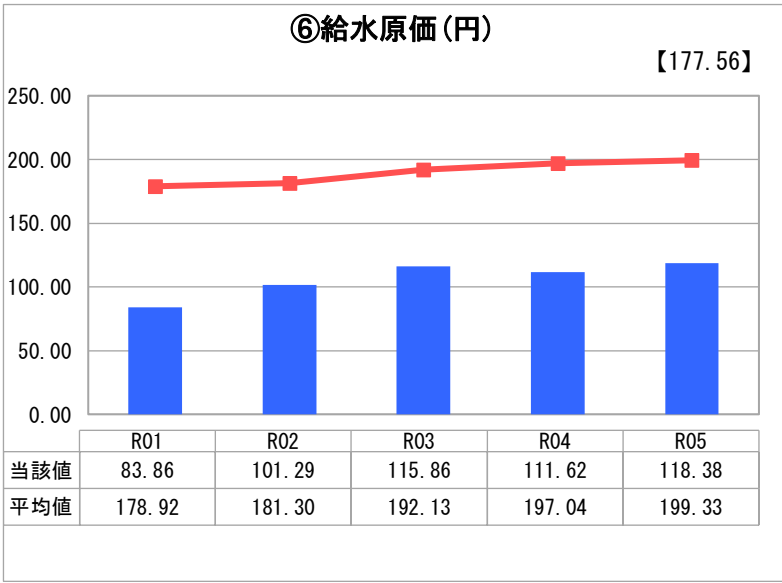
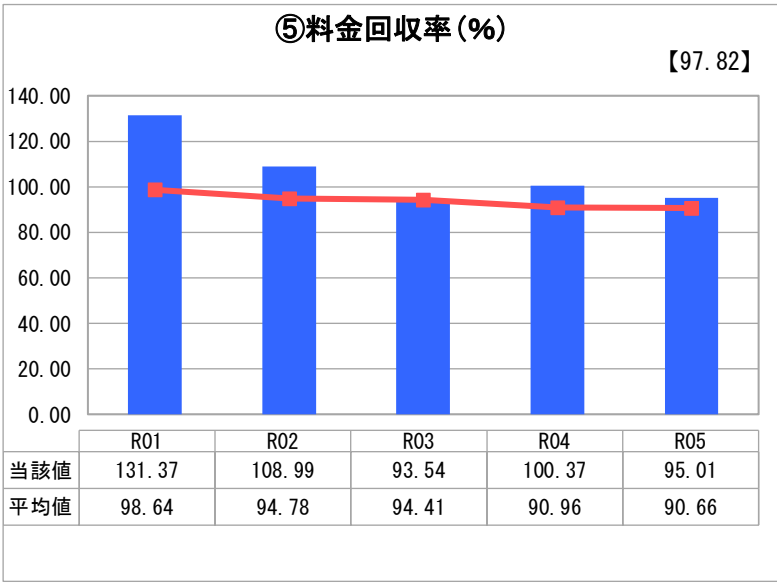
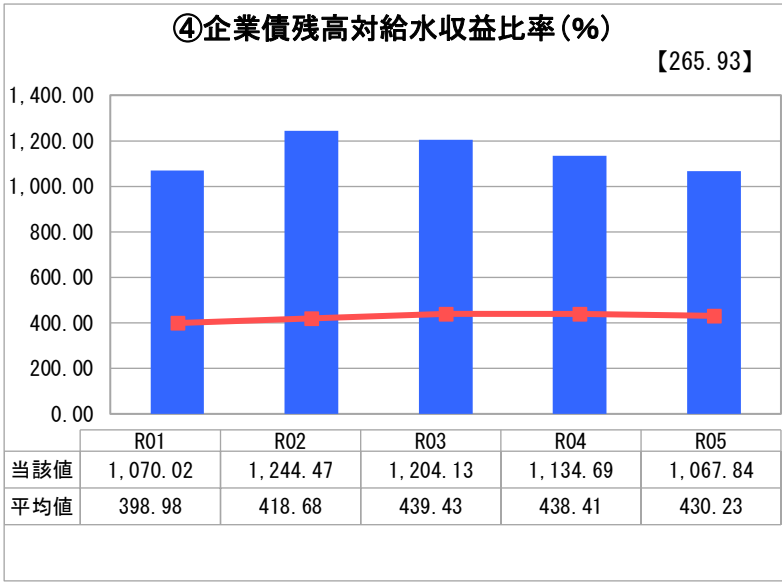
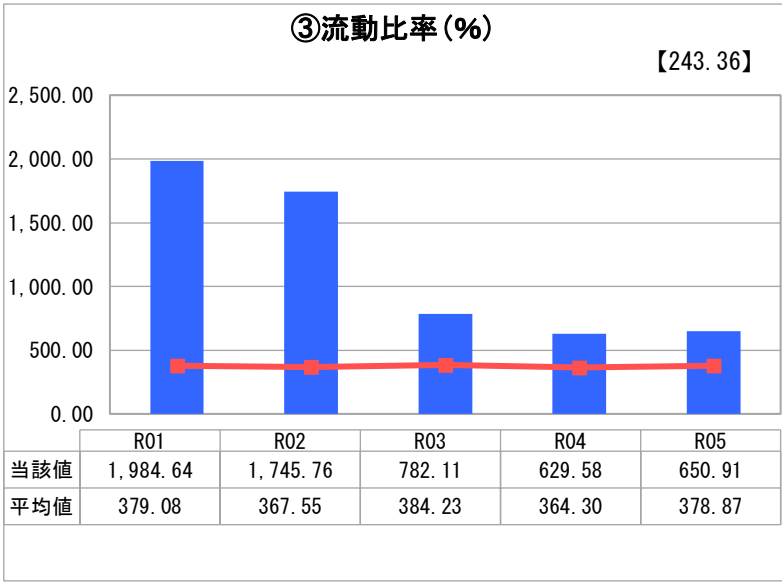
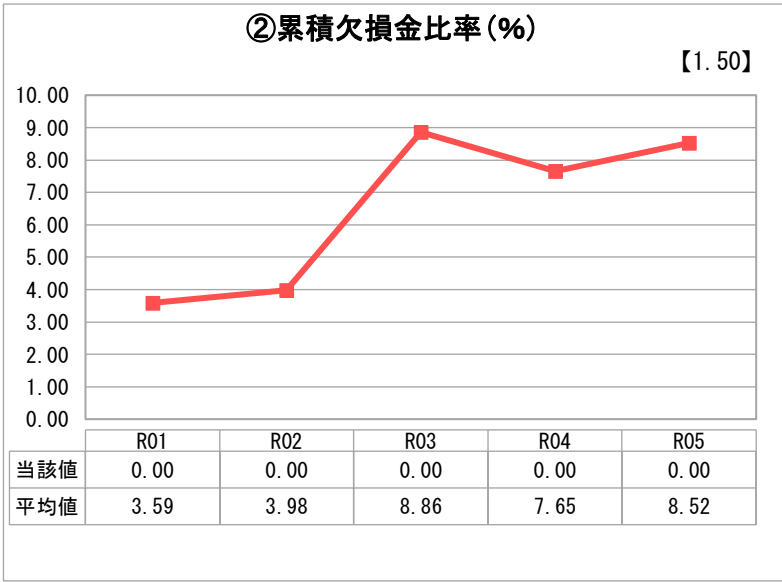
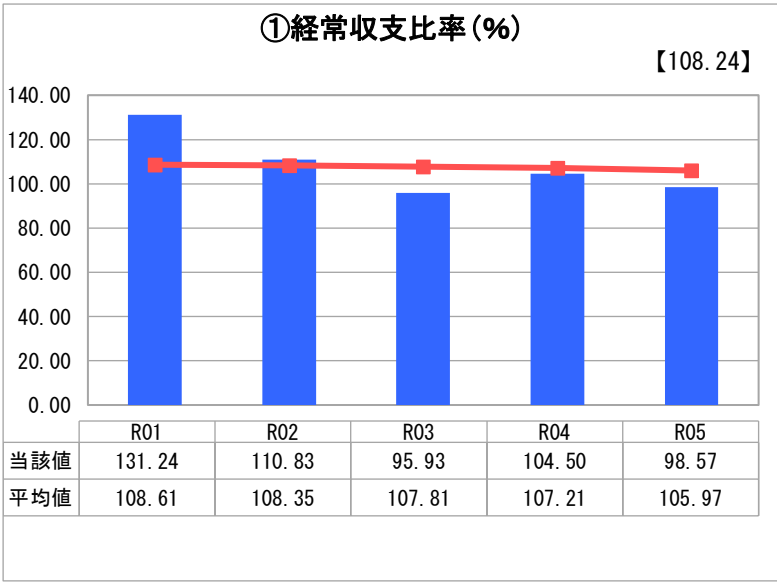
岐阜県 安八町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	43.76	100.00	2,200	

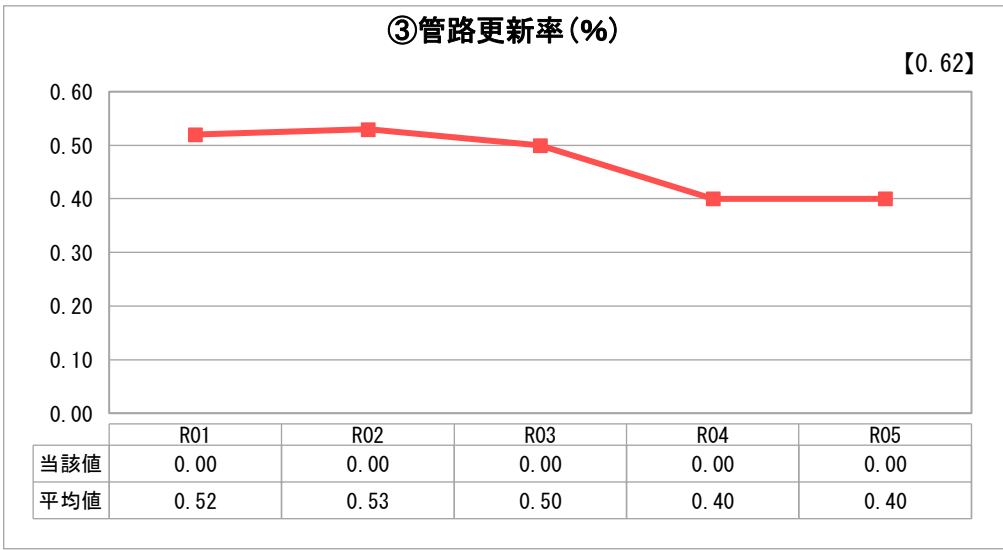
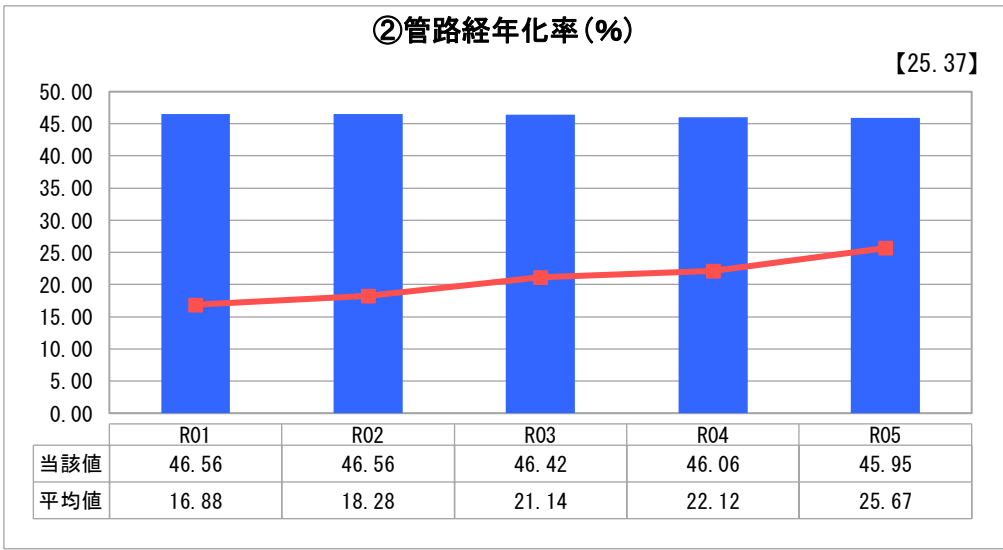
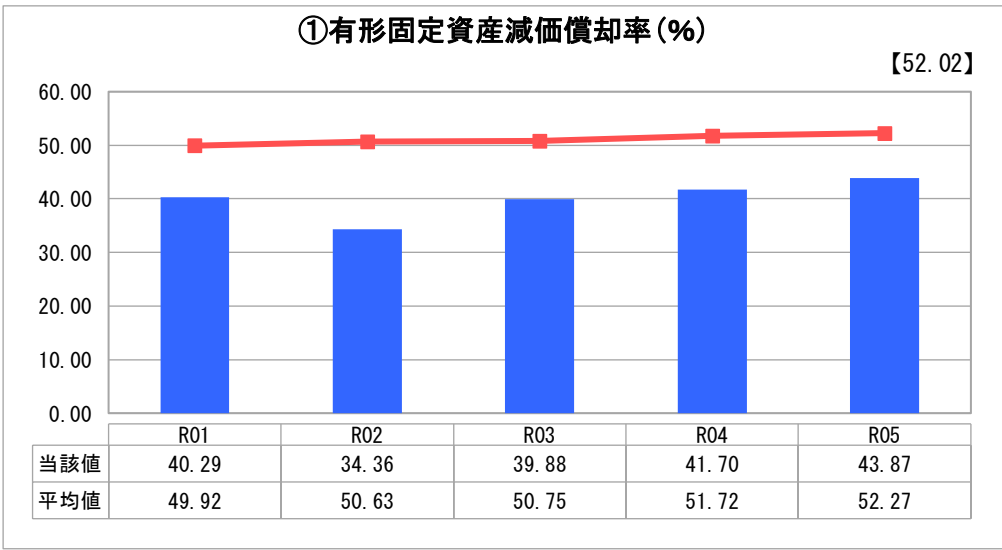
人口（人）	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,465	18.16	796.53
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
14,709	18.30	803.77

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び料金回収率において前年度と比較して減少しているが、これは単年度の多額のシステム改修費用が発生したためであり、経営においては安定しているといえる。

企業債残高対給水収益比率において類似団体平均値より高い水準にあるのは、平成5年度から平成21年度にかけて施工した水道管布設替工事のための借入、また平成29年度より配水場更新事業を施工したための借入であり、償還が進み少しずつではあるが減少している。

多額の借入れによって、経営に悪影響を与えることが懸念されるが、事業計画の財政シュミレーションにて、投資的費用を抑えることで今後も健全な事業経営を継続していくことが検証されている。

現在経営状況においては、概ね健全な経営が出来ている。

2. 老朽化の状況について

基幹施設である配水場全施設について平成28年度より配水場更新計画に基づき更新事業（老朽改善・耐震対策）を行ない、令和2年度に完了した。管路に関しては、基幹管路（L≒28.6km）について耐用年数を超えている。その為、令和3年度に詳細な管路更新計画を策定し、令和4年度には導水管路更新設計を策定している。今後導水管路や重要な給水管路更新工事に着手していく予定である。

その他の管路においては、下水道管布設工事時（平成5年度から平成21年度）に布設替え済みである。

全体総括

現状の経営状況については概ね健全であると思われるが、企業債償還金が減少するまでの間は、管路更新事業等の投資的費用を抑えながらも事業を実施していく必要がある。

現状の内部留保資金の状況、今後の人口動態を踏まえて、水道料金改正を視野に入れ経営戦略の見直しによる財政的な試算を行い、今後の事業計画を策定を進めていく必要がある。

また財源確保として、水道料金収納率の向上を重点項目として取り組んでいきたいと考えている。